



## 日・カリブ交流年2024年記念事業 日本伝統舞踊“地唄舞”と音楽“箏”カリブ公演2024

2024年日本・カリコム友好年を記念して、在バルバドス日本大使館は4月26日から28日まで、日本の伝統舞踊と音楽を紹介するイベントを開催しました。



左から日吉章吾氏、カミンズBMHS館長、花崎伽奈女氏、シモンズ外務・貿易大臣、  
メイソンバルバドス大統領、福嶋大使、花崎杜季女氏



「五十鈴川」、「祭りの太鼓」を演奏する日吉章吾氏



地唄舞「山姥」を舞う花崎杜季女氏

2024年4月27日、在バルバドス日本国大使館はバルバドス博物館・歴史協会（BMHS）と協力し、日本の伝統舞踊と音楽の夕べをBMHSウォールド・ガーデン・シアターで開催しました。イベントは、ケリー・シモンズ外務・貿易大臣、アリサンドラ・カミンズBMHS館長、福嶋香代子駐バルバドス大使の挨拶で始まり、各登壇者からは、日本とカリコム地域の長年の協力の歴史と友好関係の一層の深まりへの期待が述べられました。詰めかけた200名を超える観客の中には、バルバドス大統領のサンドラ・プルネラ・メイソン大統領、文化担当の首相府大臣であるシャンタン・マルロー＝ナイト上院議員、インフラ・プロジェクトの調整を担当するウィリアム・F・デュグイド首相府上級大臣、ジョン・キング上院議員（文化遺産担当政府特別顧問）をはじめとする政府高官や各国外交団、学術機関代表者等も出席し、三浦慕一等書記官の司会進行で、花崎杜季女氏と花崎伽奈女氏による地唄舞、そして日吉省吾氏による琴の演奏が披露されました。



ワークショップで地唄舞を指導する花崎杜季女氏



参加者に箏の弾き方を実演する日吉章吾氏



参加者に扇子の使い方を指導する花崎伽奈女氏

翌28日は、日本舞踊と音楽のワークショップを実施しました。この参加型ワークショップの参加者は、実演を見学し、地唄と琴に触れる機会を得ることができました。会場となった旧セント・アンジェラスクールのホールには43名の地元の舞踊・音楽指導者、学生、愛好家が集まり、花崎杜季女氏、花崎伽奈女氏、日吉省吾氏が指導するバルバドス初のワークショップに参加しました。

これらのイベントに先立ち、日本大使館はアクラ・ビーチ・ホテル&スパにて、週末のイベント実施を記念したプレス発表会を26日に開催しました。福嶋香代子大使は開会の辞を述べ、この文化交流がバルバドスと日本の相互理解をさらに深めることに期待を表明しました。来日した3人の日本人演者、花崎杜季女氏と花崎伽奈女氏、日吉省吾氏、そして顔師の神田光修氏、舞台衣装師の佐藤幸子氏が出席。発表会では三浦慕一等書記官が、何世紀にもわたって受け継がれてきた日本舞踊や音楽の起源について紹介し、普段は余り目にする機会のない伝統技術「顔師」や「舞台衣装師」を紹介の後、出演

者による音楽と踊りのデモンストレーションが行われました。



左から花崎伽奈女氏、花崎杜季女氏、日吉省吾氏



地唄舞「鐘ヶ岬」を舞う花崎伽奈女氏